

ダイワ高格付豪ドル債オープン (毎月分配型)

運用報告書（全体版）

第234期（決算日 2022年 5 月16日）
第235期（決算日 2022年 6 月15日）
第236期（決算日 2022年 7 月15日）
第237期（決算日 2022年 8 月15日）
第238期（決算日 2022年 9 月15日）
第239期（決算日 2022年10月17日）

（作成対象期間 2022年 4月16日～2022年10月17日）

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、豪ドル建ての公社債等に投資し、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0120-106212
(営業日の9:00～17:00)
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券		
信託期間	無期限（設定日：2002年10月31日）		
運用方針	安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。		
主要投資対象	ベビーファンド	ダイワ高格付豪ドル債マザーファンドの受益証券	
	ダイワ高格付豪ドル債マザーファンド	内外の公社債、ＡＢＳ（アセットバック証券：各種の債権や商業用不動産などの資産を裏付けとして発行された証券）、ＭＢＳ（モーゲージ担保証券：不動産担保融資の債権を裏付けとして発行された証券）および短期金融商品	
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率		無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率		純資産総額の10％以下
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、安定した分配を継続的に行なうことを目標に分配金額を決定します。		

◇TUZ0583020221017◇

最近30期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			FTSEオーストラリア国債 インデックス (円換算)		公 社 債 組入比率	債 券 先物比率	純 資 産 総 額
	(分配落)	税 込 分 配 金	期 中 騰 落 率	(参考指数)	期 中 騰 落 率			
210期末(2020年 5 月15日)	円	円	%		%	%	%	百万円
	5,358	20	1.7	27,452	1.3	98.1	—	5,099
211期末(2020年 6 月15日)	5,628	10	5.2	28,897	5.3	98.0	—	5,296
212期末(2020年 7 月15日)	5,763	10	2.6	29,628	2.5	97.8	—	5,404
213期末(2020年 8 月17日)	5,888	10	2.3	30,282	2.2	98.2	—	5,454
214期末(2020年 9 月15日)	5,921	10	0.7	30,567	0.9	97.8	—	5,430
215期末(2020年10月15日)	5,792	10	△2.0	30,026	△1.8	97.9	—	5,287
216期末(2020年11月16日)	5,890	10	1.9	30,440	1.4	98.2	—	5,308
217期末(2020年12月15日)	6,033	10	2.6	31,186	2.5	98.2	—	5,408
218期末(2021年 1 月15日)	6,181	10	2.6	31,879	2.2	97.8	—	4,355
219期末(2021年 2 月15日)	6,233	10	1.0	32,075	0.6	98.0	—	4,322
220期末(2021年 3 月15日)	6,362	10	2.2	32,381	1.0	97.8	—	4,317
221期末(2021年 4 月15日)	6,331	10	△0.3	32,343	△0.1	97.6	—	4,197
222期末(2021年 5 月17日)	6,365	10	0.7	32,544	0.6	97.4	—	4,174
223期末(2021年 6 月15日)	6,386	10	0.5	33,172	1.9	98.0	—	4,121
224期末(2021年 7 月15日)	6,163	10	△3.3	32,405	△2.3	97.1	—	3,925
225期末(2021年 8 月16日)	6,045	10	△1.8	31,989	△1.3	97.9	—	3,781
226期末(2021年 9 月15日)	6,006	10	△0.5	31,854	△0.4	97.5	—	3,724
227期末(2021年10月15日)	6,241	10	4.1	32,694	2.6	97.9	—	3,837
228期末(2021年11月15日)	6,058	10	△2.8	31,898	△2.4	97.7	—	3,681
229期末(2021年12月15日)	5,899	10	△2.5	31,329	△1.8	97.3	—	3,570
230期末(2022年 1 月17日)	5,956	10	1.1	31,422	0.3	96.9	—	3,567
231期末(2022年 2 月15日)	5,846	10	△1.7	30,759	△2.1	97.4	—	3,470
232期末(2022年 3 月15日)	5,962	10	2.2	31,198	1.4	97.5	—	3,517
233期末(2022年 4 月15日)	6,422	10	7.9	33,147	6.2	97.6	—	3,684
234期末(2022年 5 月16日)	6,061	10	△5.5	31,005	△6.5	97.9	—	3,380
235期末(2022年 6 月15日)	6,104	10	0.9	30,985	△0.1	97.6	—	3,370
236期末(2022年 7 月15日)	6,251	10	2.6	32,434	4.7	97.4	—	3,414
237期末(2022年 8 月15日)	6,313	10	1.2	32,735	0.9	97.5	—	3,312
238期末(2022年 9 月15日)	6,406	10	1.6	33,088	1.1	97.5	—	3,270
239期末(2022年10月17日)	6,042	10	△5.5	31,040	△6.2	97.8	—	3,072

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) F T S E オーストラリア国債インデックス (円換算) は、F T S E オーストラリア国債インデックス (豪ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。F T S E オーストラリア国債インデックス (豪ドルベース) は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注5) 公社債および債券先物の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

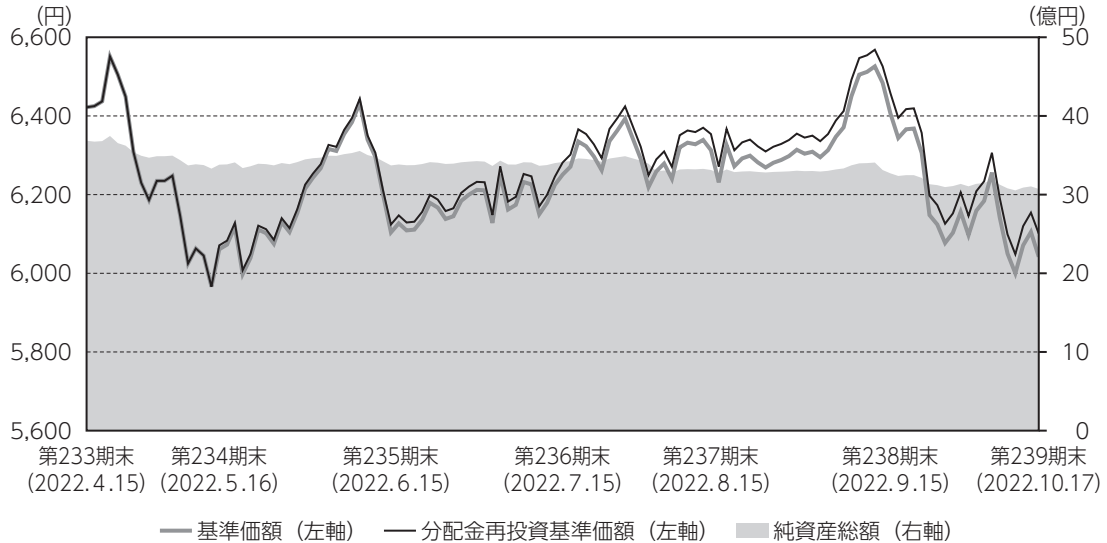
(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) を除きます。

(注7) 債券先物比率は買建比率－売建比率です。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

- * 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- * 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

第234期首：6,422円

第239期末：6,042円（既払分配金60円）

騰 落 率：△5.0%（分配金再投資ベース）

基準価額の主な変動要因

投資している債券の利息収入はプラス要因になったものの、債券価格の下落および豪ドルが円に対して下落（円高）したことがマイナス要因となり、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ高格付豪ドル債オープン（毎月分配型）

	年 月 日	基 準 価 額		F T S E オーストラリア国債 インデックス (円換算)		公 社 債 組 入 比 率	債 先 物 比 券 率
			騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
第234期	(期首) 2022年 4 月15日	円 6,422	% －	33,147	% －	% 97.6	% －
	4 月末	6,235	△2.9	32,262	△2.7	97.9	－
	(期末) 2022年 5 月16日	6,071	△5.5	31,005	△6.5	97.9	－
第235期	(期首) 2022年 5 月16日	6,061	－	31,005	－	97.9	－
	5 月末	6,215	2.5	32,034	3.3	98.1	－
	(期末) 2022年 6 月15日	6,114	0.9	30,985	△0.1	97.6	－
第236期	(期首) 2022年 6 月15日	6,104	－	30,985	－	97.6	－
	6 月末	6,212	1.8	31,851	2.8	97.6	－
	(期末) 2022年 7 月15日	6,261	2.6	32,434	4.7	97.4	－
第237期	(期首) 2022年 7 月15日	6,251	－	32,434	－	97.4	－
	7 月末	6,342	1.5	33,081	2.0	98.0	－
	(期末) 2022年 8 月15日	6,323	1.2	32,735	0.9	97.5	－
第238期	(期首) 2022年 8 月15日	6,313	－	32,735	－	97.5	－
	8 月末	6,304	△0.1	32,580	△0.5	98.0	－
	(期末) 2022年 9 月15日	6,416	1.6	33,088	1.1	97.5	－
第239期	(期首) 2022年 9 月15日	6,406	－	33,088	－	97.5	－
	9 月末	6,156	△3.9	31,639	△4.4	97.7	－
	(期末) 2022年10月17日	6,052	△5.5	31,040	△6.2	97.8	－

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2022.4.16～2022.10.17)

■オーストラリア債券市況

オーストラリア債券市況は、金利は上昇（債券価格は下落）しました。

R B A（オーストラリア準備銀行）が利上げを決定したことなどを受けて、金利は上昇しました。また、F R B（米国連邦準備制度理事会）やE C B（欧州中央銀行）をはじめとする海外の中央銀行による金融引き締め観測が高まったことも、金利上昇の要因となりました。

■為替相場

豪ドルは対円で下落しました。

オーストラリアの金利が上昇する一方で日銀が金利上昇を抑制する措置をとり、内外の金利差が拡大したことなどが豪ドルの上昇（円安）要因となりましたが、市場のリスク回避姿勢が強まる場面があったことなどが豪ドルの下落要因となり、当作成期を通しては円高豪ドル安となりました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

主として「ダイワ高格付豪ドル債マザーファンド」の受益証券に投資することにより、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。

■ダイワ高格付豪ドル債マザーファンド

豪ドル建ての公社債等に投資することにより、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。ファンドの運用につきましては、金融政策と経済ファンダメンタルズの分析や金融市場の動向などを踏まえ、金利変動リスクを表す修正デュレーションを3（年）程度から5（年）程度の範囲内で変動させるとともに、債券の種別構成や年限構成を決定します。為替については、豪ドル建資産の投資比率を高位に保つ方針です。

ポートフォリオについて

(2022.4.16～2022.10.17)

当ファンド

「ダイワ高格付豪ドル債マザーファンド」の受益証券に投資することを通して豪ドル建ての公社債等を組み入れ、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行いました。

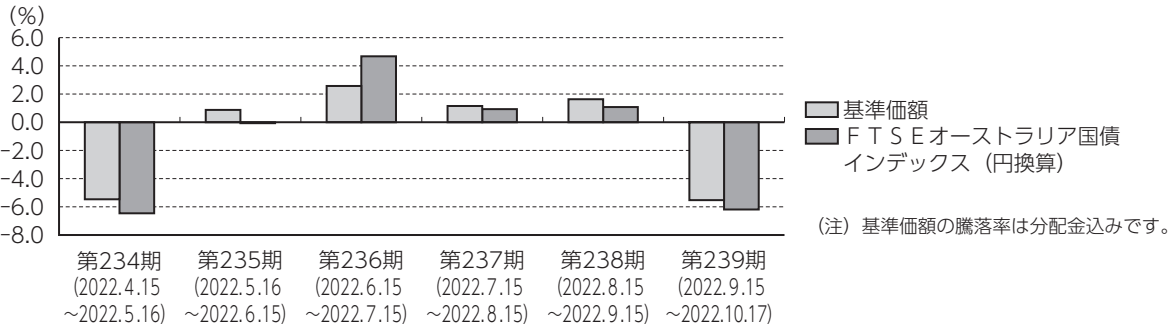
ダイワ高格付豪ドル債マザーファンド

豪ドル建ての公社債等を高位に組み入れ、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行いました。

ポートフォリオの修正デュレーションは、3（年）程度から5（年）程度の範囲内で運用しました。
債券種別構成に関しては、非国債の組入比率を高めに保ちました。
為替に関しては、実質外貨比率を高位に保ちました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。
以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第234期	第235期	第236期	第237期	第238期	第239期
	2022年4月16日 ～2022年5月16日	2022年5月17日 ～2022年6月15日	2022年6月16日 ～2022年7月15日	2022年7月16日 ～2022年8月15日	2022年8月16日 ～2022年9月15日	2022年9月16日 ～2022年10月17日
当期分配金（税込み）（円）	10	10	10	10	10	10
対基準価額比率（％）	0.16	0.16	0.16	0.16	0.16	0.17
当期の収益（円）	10	10	10	10	10	10
当期の収益以外（円）	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額（円）	318	323	330	337	345	346

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第234期	第235期	第236期	第237期	第238期	第239期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 10.74円	✓ 15.61円	✓ 17.01円	✓ 17.00円	✓ 17.44円	✓ 11.10円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	237.49	237.53	237.58	237.62	237.66	237.70
(d) 分配準備積立金	79.92	80.62	86.19	93.16	100.12	107.53
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	328.16	333.77	340.79	347.79	355.24	356.35
(f) 分配金	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	318.16	323.77	330.79	337.79	345.24	346.35

（注）✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

主として「ダイワ高格付豪ドル債マザーファンド」の受益証券に投資することにより、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。

■ダイワ高格付豪ドル債マザーファンド

豪ドル建ての公社債等に投資することにより、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。ファンドの運用につきましては、金融政策と経済ファンダメンタルズの分析や金融市場の動向などを踏まえ、金利変動リスクを表す修正デュレーションを3（年）程度から5（年）程度の範囲内で変動させるとともに、債券の種別構成や年限構成を決定します。為替については、豪ドル建資産の投資比率を高位に保つ方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	第234期～第239期 (2022.4.16～2022.10.17)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	43円	0.695%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は6,239円です。
(投 信 会 社)	(17)	(0.278)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(24)	(0.389)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.027)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	1	0.014	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(1)	(0.010)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	44	0.708	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

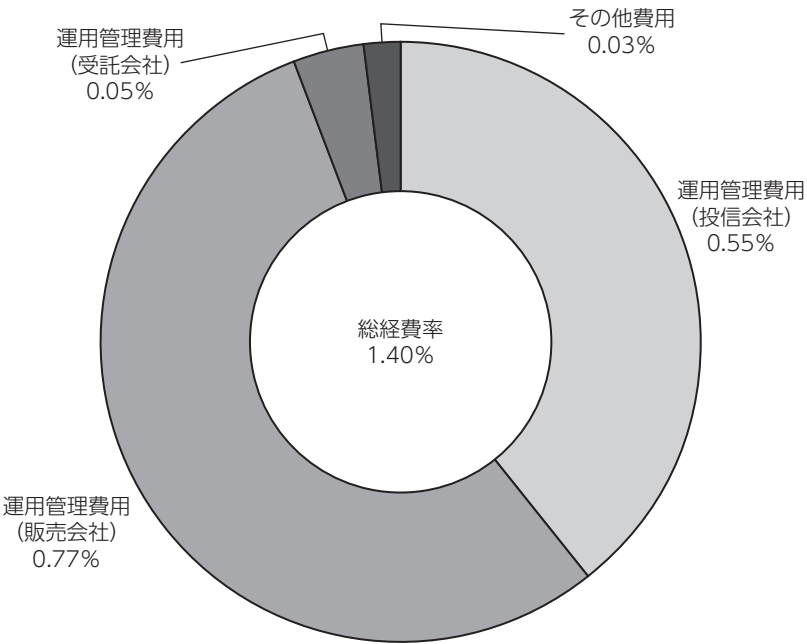
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.40%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
(注3) 各比率は、年率換算した値です。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2022年4月16日から2022年10月17日まで)

決 算 期	第 234 期 ～ 第 239 期			
	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千□	千円	千□	千円
ダイワ高格付豪ドル債 マザーファンド	704	2,219	143,357	467,570

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	第233期末	第 239 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千□	千□	千円
ダイワ高格付豪ドル債マザーファンド	1,113,368	970,715	3,057,561

(注) 単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2022年5月16日)、(2022年6月15日)、(2022年7月15日)、(2022年8月15日)、(2022年9月15日)、(2022年10月17日)現在

項 目	第 234 期 末	第 235 期 末	第 236 期 末	第 237 期 末	第 238 期 末	第 239 期 末
(A) 資産	3,394,206,573円	3,380,408,932円	3,424,151,797円	3,322,523,068円	3,355,717,440円	3,083,721,743円
コール・ローン等	26,222,849	26,147,006	25,574,064	24,400,330	25,153,754	23,507,329
ダイワ高格付豪ドル債 マザーファンド(評価額)	3,364,112,445	3,354,261,926	3,398,203,653	3,297,165,401	3,254,128,317	3,057,561,093
未収入金	3,871,279	—	374,080	957,337	76,435,369	2,653,321
(B) 負債	13,796,808	9,453,190	9,383,887	9,525,188	85,488,055	11,498,227
未払収益分配金	5,577,141	5,522,135	5,462,769	5,248,219	5,104,827	5,084,884
未払解約金	4,084,080	—	12,358	224,523	76,392,109	2,466,152
未払信託報酬	4,110,938	3,883,124	3,837,817	3,957,774	3,873,225	3,806,475
その他未払費用	24,649	47,931	70,943	94,672	117,894	140,716
(C) 純資産総額(A－B)	3,380,409,765	3,370,955,742	3,414,767,910	3,312,997,880	3,270,229,385	3,072,223,516
元本	5,577,141,826	5,522,135,467	5,462,769,897	5,248,219,088	5,104,827,381	5,084,884,643
次期繰越損益金	△2,196,732,061	△2,151,179,725	△2,048,001,987	△1,935,221,208	△1,834,597,996	△2,012,661,127
(D) 受益権総口数	5,577,141,826□	5,522,135,467□	5,462,769,897□	5,248,219,088□	5,104,827,381□	5,084,884,643□
1万口当り基準価額(C/D)	6,061円	6,104円	6,251円	6,313円	6,406円	6,042円

* 当作成期首における元本額は5,737,289,830円、当作成期間（第234期～第239期）中における追加設定元本額は15,263,029円、同解約元本額は667,668,216円です。

* 第239期末の計算口数当りの純資産額は6,042円です。

* 第239期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は2,012,661,127円です。

■投資信託財産の構成

2022年10月17日現在

項 目	第 239 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ高格付豪ドル債マザーファンド	3,057,561	99.2
コール・ローン等、その他	26,160	0.8
投資信託財産総額	3,083,721	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、10月17日における邦貨換算レートは、1 オーストラリア・ドル＝92.36円です。

(注3) ダイワ高格付豪ドル債マザーファンドにおいて、第239期末における外貨建純資産（6,663,808千円）の投資信託財産総額（6,667,323千円）に対する比率は、99.9%です。

ダイワ高格付豪ドル債オープン（毎月分配型）

■損益の状況

第234期
第235期
第236期

自2022年4月16日
自2022年5月17日
自2022年6月16日

至2022年5月16日
至2022年6月15日
至2022年7月15日

第237期
第238期
第239期

自2022年7月16日
自2022年8月16日
自2022年9月16日

至2022年8月15日
至2022年9月15日
至2022年10月17日

項 目	第 234 期	第 235 期	第 236 期	第 237 期	第 238 期	第 239 期
(A) 配当等収益	△ 203円	△ 373円	△ 349円	△ 146円	△ 454円	△ 749円
受取利息	1	－	4	4	9	1
支払利息	△ 204	△ 373	△ 353	△ 150	△ 463	△ 750
(B) 有価証券売買損益	△ 191,675,502	33,312,100	89,373,243	41,575,975	56,748,372	△ 176,303,914
売買益	2,390,350	33,981,945	89,819,591	42,156,002	59,381,110	344,265
売買損	△ 194,065,852	△ 669,845	△ 446,348	△ 580,027	△ 2,632,738	△ 176,648,179
(C) 信託報酬等	△ 4,135,587	△ 3,906,406	△ 3,860,829	△ 3,981,503	△ 3,896,447	△ 3,829,297
(D) 当期損益(A+B+C)	△ 195,811,292	29,405,321	85,512,065	37,594,326	52,851,471	△ 180,133,960
(E) 前期繰越損益金	△ 771,362,515	△ 962,673,551	△ 928,224,658	△ 814,523,863	△ 760,492,899	△ 709,694,878
(F) 追加信託差損益金	△ 1,223,981,113	△ 1,212,389,360	△ 1,199,826,625	△ 1,153,043,452	△ 1,121,851,741	△ 1,117,747,405
(配当等相当額)	(132,455,213)	(131,171,987)	(129,786,775)	(124,710,746)	(121,325,278)	(120,872,529)
(売買損益相当額)	(△ 1,356,436,326)	(△ 1,343,561,347)	(△ 1,329,613,400)	(△ 1,277,754,198)	(△ 1,243,177,019)	(△ 1,238,619,934)
(G) 合計(D + E + F)	△ 2,191,154,920	△ 2,145,657,590	△ 2,042,539,218	△ 1,929,972,989	△ 1,829,493,169	△ 2,007,576,243
(H) 収益分配金	△ 5,577,141	△ 5,522,135	△ 5,462,769	△ 5,248,219	△ 5,104,827	△ 5,084,884
次期繰越損益金(G+H)	△ 2,196,732,061	△ 2,151,179,725	△ 2,048,001,987	△ 1,935,221,208	△ 1,834,597,996	△ 2,012,661,127
追加信託差損益金	△ 1,223,981,113	△ 1,212,389,360	△ 1,199,826,625	△ 1,153,043,452	△ 1,121,851,741	△ 1,117,747,405
(配当等相当額)	(132,455,213)	(131,171,987)	(129,786,775)	(124,710,746)	(121,325,278)	(120,872,529)
(売買損益相当額)	(△ 1,356,436,326)	(△ 1,343,561,347)	(△ 1,329,613,400)	(△ 1,277,754,198)	(△ 1,243,177,019)	(△ 1,238,619,934)
分配準備積立金	44,989,942	47,623,155	50,916,801	52,571,290	54,915,527	55,242,496
繰越損益金	△ 1,017,740,890	△ 986,413,520	△ 899,092,163	△ 834,749,046	△ 767,661,782	△ 950,156,218

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第 234 期	第 235 期	第 236 期	第 237 期	第 238 期	第 239 期
(a) 経費控除後の配当等収益	5,991,026円	8,621,432円	9,292,393円	8,922,840円	8,906,534円	5,646,954円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	132,455,213	131,171,987	129,786,775	124,710,746	121,325,278	120,872,529
(d) 分配準備積立金	44,576,057	44,523,858	47,087,177	48,896,669	51,113,820	54,680,426
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	183,022,296	184,317,277	186,166,345	182,530,255	181,345,632	181,199,909
(f) 分配金	5,577,141	5,522,135	5,462,769	5,248,219	5,104,827	5,084,884
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	177,445,155	178,795,142	180,703,576	177,282,036	176,240,805	176,115,025
(h) 受益権総口数	5,577,141,826□	5,522,135,467□	5,462,769,897□	5,248,219,088□	5,104,827,381□	5,084,884,643□

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
	第 234 期	第 235 期	第 236 期	第 237 期	第 238 期	第 239 期
1万口当り分配金（税込み）	10円	10円	10円	10円	10円	10円

●＜分配金再投資コース＞をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
 - ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
 - ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
 - ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

ダイワ高格付豪ドル債マザーファンド

運用報告書 第40期（決算日 2022年10月17日）

（作成対象期間 2022年4月16日～2022年10月17日）

ダイワ高格付豪ドル債マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

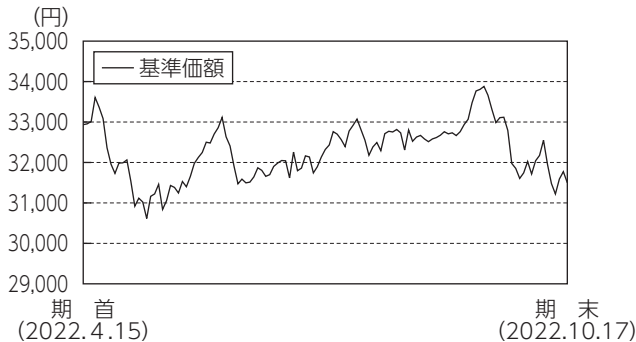
運 用 方 針	安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。
主 要 投 資 対 象	内外の公社債、ＡＢＳ（アセットバック証券：各種の債権や商業用不動産などの資産を裏付けとして発行された証券）、ＭＢＳ（モーゲージ担保证券：不動産担保融資の債権を裏付けとして発行された証券）および短期金融商品
株 式 組 入 制 限	純資産総額の10%以下

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基 準 価 額		FTSEオーストラリア 国債インデックス (円 換 算)		公 社 債 組入比率	債 券 先物比率
	円	騰落率	(参考指数)	騰落率		
(期首)2022年 4月15日	32,935	% —	33,147	% —	98.1	% —
4 月末	31,985	△2.9	32,262	△2.7	98.4	—
5 月末	31,978	△2.9	32,034	△3.4	98.6	—
6 月末	32,048	△2.7	31,851	△3.9	98.1	—
7 月末	32,811	△0.4	33,081	△0.2	98.5	—
8 月末	32,708	△0.7	32,580	△1.7	98.5	—
9 月末	32,024	△2.8	31,639	△4.5	98.2	—
(期末)2022年10月17日	31,498	△4.4	31,040	△6.4	98.2	—

- (注1) 騰落率は期首比。
 (注2) F T S E オーストラリア国債インデックス (円換算) は、F T S E オーストラリア国債インデックス (豪ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。F T S E オーストラリア国債インデックス (豪ドルベース) は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
 (注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
 (注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
 (注5) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) を除きます。
 (注6) 債券先物比率は買建比率－売建比率です。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：32,935円 期末：31,498円 騰落率：△4.4%

【基準価額の主な変動要因】

投資している債券の利息収入はプラス要因になったものの、債券価格の下落および豪ドルが円に対して下落 (円高) したことがマイナス要因となり、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆投資環境について

○オーストラリア債券市況

オーストラリア債券市況は、金利は上昇 (債券価格は下落) しました。

R B A (オーストラリア準備銀行) が利上げを決定したことなど

を受けて、金利は上昇しました。また、F R B (米国連邦準備制度理事会) や E C B (欧州中央銀行) をはじめとする海外の中央銀行による金融引き締め観測が高まったことも、金利上昇の要因となりました。

○為替相場

豪ドルは対円で下落しました。

オーストラリアの金利が上昇する一方で日銀が金利上昇を抑制する措置をとり、内外の金利差が拡大したことなどが豪ドルの上昇 (円安) 要因となりましたが、市場のリスク回避姿勢が強まる場面があったことなどが豪ドルの下落要因となり、当作成期を通しては円高豪ドル安となりました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

豪ドル建ての公社債等に投資することにより、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。ファンドの運用につきましては、金融政策と経済ファンダメンタルズの分析や金融市場の動向などを踏まえ、金利変動リスクを表す修正デュレーションを3 (年) 程度から5 (年) 程度の範囲内で変動させるとともに、債券の種別構成や年限構成を決定します。為替については、豪ドル建資産の投資比率を高位に保つ方針です。

◆ポートフォリオについて

豪ドル建ての公社債等を高位に組み入れ、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行いました。

ポートフォリオの修正デュレーションは、3 (年) 程度から5 (年) 程度の範囲内で運用しました。

債券種別構成に関しては、非国債の組入比率を高めに保ちました。為替に関しては、実質外貨比率を高位に保ちました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当作成期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当作成期中の基準価額と市況等の推移」をご参照ください。

《今後の運用方針》

豪ドル建ての公社債等に投資することにより、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。ファンドの運用につきましては、金融政策と経済ファンダメンタルズの分析や金融市場の動向などを踏まえ、金利変動リスクを表す修正デュレーションを3 (年) 程度から5 (年) 程度の範囲内で変動させるとともに、債券の種別構成や年限構成を決定します。為替については、豪ドル建資産の投資比率を高位に保つ方針です。

■ 1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	一円
有価証券取引税	—
その他費用	3
（保管費用）	(3)
（その他）	(0)
合 計	3

(注 1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。
(注 2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■ 売買および取引の状況
公 社 債

(2022年 4月16日から2022年10月17日まで)

			買 付 額	売 付 額
外 国	オーストラリア	千オーストラリア・ドル	千オーストラリア・ドル	千オーストラリア・ドル
		地方債証券	—	514 (—)
		特殊債券	—	5,774 (—)

(注 1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
(注 2) (—)内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
(注 3) 単位未満は切捨て。

■ 主要な売買銘柄
公 社 債

(2022年 4月16日から2022年10月17日まで)

当		期	
買	付	売	付
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
	千円	KFW-KREDIT WIEDERAUFBAU（ドイツ） 5% 2024/3/19	千円
		Airservices Australia（オーストラリア） 2.75% 2023/5/15	387,350
		AUSTRALIAN CAPITAL TERRITORY（オーストラリア） 4% 2024/5/22	155,354
			47,198

(注 1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
(注 2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表
(1) 外国（外貨建）公社債（通貨別）

区 分	額 面 金 額	当 期		末				
		評 価 額		組 入 比 率	う ち B B 格 以下組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
		外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額			5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
オーストラリア	千オーストラリア・ドル 75,068	千オーストラリア・ドル 70,884	千円 6,546,847	% 98.2	% －	% 26.9	% 45.9	% 25.4

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。
(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。
(注3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。
(注4) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2) 外国（外貨建）公社債（銘柄別）

		当		期		末									
区	分	銘	柄	種	類	年	利	率	額	面	金	額	評 価 額		償 還 年 月 日
													外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
オーストラリア		AUSTRALIAN GOVERNMENT BOND	国 債 証 券	3.2500	千	オーストラリア・ドル	5,368	千	オーストラリア・ドル	5,340	千	円	493,284		2025/04/21
		Province of Alberta Canada	地 方 債 証 券	2.4000			500			399			36,893		2030/10/02
		AUSTRALIAN CAPITAL TERRITORY	地 方 債 証 券	3.0000			2,000			1,882			173,899		2028/04/18
		LANDWIRTSCHAFT RENTENBANK	特 殊 債 券	4.7500			3,000			3,033			280,213		2024/04/08
		KFW-KREDIT WIEDERAUFBAU	特 殊 債 券	5.0000			2,500			2,537			234,381		2024/03/19
		KOMMUNALBANKEN	特 殊 債 券	5.2500			2,800			2,849			263,216		2024/07/15
		WESTERN AUSTRALIAN TREASURY CORP.	特 殊 債 券	3.0000			400			385			35,588		2026/10/21
		NEW SOUTH WALES TREASURY CORP.	特 殊 債 券	3.0000			1,000			927			85,656		2029/04/20
		South Australia GOV.FIN.AUTH.	特 殊 債 券	3.0000			5,000			4,691			433,306		2028/05/24
		TREASURY CORP VICTORIA	特 殊 債 券	3.0000			3,500			3,272			302,290		2028/10/20
		TREASURY CORP VICTORIA	特 殊 債 券	1.5000			2,000			1,552			143,409		2031/09/10
		QUEENSLAND TREASURY CORP.	特 殊 債 券	3.2500			10,000			9,748			900,334		2026/07/21
		QUEENSLAND TREASURY CORP.	特 殊 債 券	1.5000			2,000			1,537			141,981		2032/03/02
		QUEENSLAND TREASURY CORP.	特 殊 債 券	1.7500			4,000			2,908			268,590		2034/07/20
		EUROPEAN INVESTMENT BANK	特 殊 債 券	4.7500			7,500			7,595			701,545		2024/08/07
		EUROPEAN INVESTMENT BANK	特 殊 債 券	1.8000			3,000			2,691			248,562		2027/01/19
		Toronto-Dominion Bank/The	社 債 券	2.0500			1,800			1,712			158,201		2024/07/10
		University of Sydney	社 債 券	3.7500			6,000			5,873			542,489		2025/08/28
		Australian National University	社 債 券	3.9800			4,040			3,970			366,697		2025/11/18
		Bank of Nova Scotia/Australia	社 債 券	3.2000			600			594			54,882		2023/09/07
		UNIVERSITY OF TASMANIA	社 債 券	3.9700			630			544			50,272		2032/03/24
		MONASH UNIVERSITY	社 債 券	4.0500			840			779			72,007		2029/04/06
		Macquarie University	社 債 券	3.5000			1,000			907			83,819		2028/09/07
		AUST & NZ BANK	社 債 券	4.0000			1,700			1,647			152,149		2026/07/22
		COMMONWEALTH BANK OF AUSTRALIA	社 債 券	2.4000			2,290			2,059			190,229		2027/01/14
		WESTPAC BANKING CORP	社 債 券	2.4000			1,600			1,439			132,942		2027/01/25
合	計	銘 柄 数	26銘柄						75,068			70,884		6,546,847	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。
(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2022年10月17日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	6,546,847	98.2
コール・ローン等、その他	120,476	1.8
投資信託財産総額	6,667,323	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。
(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、10月17日における邦貨換算レートは、1 オーストラリア・ドル＝92.36円です。
(注3) 当期末における外貨建純資産（6,663,808千円）の投資信託財産総額（6,667,323千円）に対する比率は、99.9％です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2022年10月17日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	6,670,023,769円
コール・ローン等	32,442,642
公社債(評価額)	6,546,847,302
未収入金	2,700,000
未収利息	59,095,976
差入委託証拠金	28,937,849
(B) 負債	5,357,678
未払金	2,704,357
未払解約金	2,653,321
(C) 純資産総額(A－B)	6,664,666,091
元本	2,115,879,246
次期繰越損益金	4,548,786,845
(D) 受益権総口数	2,115,879,246口
1万口当り基準価額(C／D)	31,498円

* 期首における元本額は2,344,279,597円、当作成期間中における追加設定元本額は805,225円、同解約元本額は229,205,576円です。
* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額：
 ダイワ世界債券ファンドM（FOFs用）（適格機関投資家専用） 100,899,318円
 常陽3分法ファンド 37,346,610円
 ダイワ世界債券ファンドV A（適格機関投資家専用） 4,707,585円
 ダイワ世界債券ファンド（毎月分配型） 1,000,655,676円
 ダイワ世界債券ファンド（年2回決算型） 1,554,109円
 ダイワ高格付豪ドル債オープン（毎月分配型） 970,715,948円
* 当期末の計算口数当りの純資産額は31,498円です。

■損益の状況

当期 自2022年4月16日 至2022年10月17日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	124,910,254円
受取利息	124,852,017
その他収益金	58,958
支払利息	△ 721
(B) 有価証券売買損益	△ 434,834,221
売買益	8,780,384
売買損	△ 443,614,605
(C) その他費用	△ 743,008
(D) 当期損益金(A + B + C)	△ 310,666,975
(E) 前期繰越損益金	5,376,581,925
(F) 解約差損益金	△ 518,863,488
(G) 追加信託差損益金	1,735,383
(H) 合計(D + E + F + G)	4,548,786,845
次期繰越損益金(H)	4,548,786,845

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。
(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。